



# 2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月28日

上場会社名 日本興業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5279 URL <https://www.nihon-kogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 多田 綾夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務人事部 広報・IR室長兼 総務担当次長 (氏名) 朝井 正哉

TEL 087-894-8130

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,867	27.8	37		53		14	
2023年3月期第1四半期	2,243	8.8	24		7		8	

(注)包括利益 2024年3月期第1四半期 59百万円 ( %) 2023年3月期第1四半期 16百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	4.95	
2023年3月期第1四半期	3.03	

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
2024年3月期第1四半期	14,795		7,471		49.2	
2023年3月期	15,207		7,484		48.0	

(参考)自己資本 2024年3月期第1四半期 7,279百万円 2023年3月期 7,305百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		25.00	25.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		0.00		25.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,500	18.4	25		40		10		3.45
通期	12,800	12.9	350	24.7	380	17.3	240	20.8	82.88

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	3,064,200 株	2023年3月期	3,064,200 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	168,363 株	2023年3月期	168,303 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	2,895,867 株	2023年3月期1Q	2,895,917 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想には、さまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関しましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が緩和され、社会・経済活動が持ち直しつつあるものの、エネルギーコストや原材料価格の高騰の影響が持続するなど、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループ（当社および子会社）は、販売部門においては、営業担当と各支店に配置の営業推進担当が連携しながら、当社プレキャストコンクリート製品のもつ優れた機能性を訴求すべく、役所や建設コンサルタントに向けた提案営業や新規顧客開拓を鋭意推進し受注獲得に努めてまいりました。また、開発・設計部門の支援による3次元データ等のデジタル技術を駆使しながら、高付加価値製品の拡販や難易度の高い特注物件の受注にも注力いたしました。さらに、本年4月に新設した「市場開拓部」、「事業戦略室」、「サステナビリティ推進室」ならびに「広報・IR室」により、それぞれ当社グループにおける重要課題のソリューションに向けて鋭意取り組む一方、地域戦略として、東日本地区における土木資材製品の拡販体制の強化を推し進めるとともに、本年1月に連結子会社化した葉月工業株式会社（鹿児島県鹿児島市）と連携しながら、九州地区における事業展開に向けて模索しております。一方、生産部門においても、エネルギーコストや原材料価格の高騰への対策として、生産性の向上をより一層推進し、協力会社との連携も強化しながら更なる原価の低減に取り組むなど、グループ一丸となって収益の向上に努めてまいりました。

なお、本年1月6日付で株式を80%取得し子会社とした葉月工業株式会社につきましては、本年3月31日をみなし取得日としているため、当第1四半期連結会計期間の期首より同社の業績を含めております。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、土木資材事業及び景観資材事業がともに堅調に推移したことに加え、葉月工業株式会社の業績を連結の範囲に含めたことで、28億67百万円（前年同期比27.8%増）となりました。また、損益面は、増収に加え、高付加価値製品の拡販に努めたことで、営業利益は37百万円（前年同期は24百万円の損失）、経常利益は53百万円（前年同期は7百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14百万円（前年同期は8百万円の損失）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

## (セグメント別売上高の状況)

区分	期別	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間	
		金額	構成比	金額	構成比
		百万円	%	百万円	%
土木資材事業		1,509	67.3	2,054	71.6
景観資材事業		441	19.7	584	20.4
エクステリア事業		292	13.0	229	8.0
合計		2,243	100.0	2,867	100.0

## (土木資材事業)

国や地方の推進する「国土強靱化」や「防災・減災」、「流域治水」などの重点施策を背景に、高付加価値製品の拡販に努めた結果、主力製品のボックスカルバートや側溝をはじめとする道路用製品などが堅調に推移するとともに、関西地区において港湾施設のメンテナンスに向けた高耐久性の走行路版などが売上を伸ばしました。加えて、葉月工業株式会社を連結の範囲に含めたことで、当セグメントの売上高は20億54百万円（前年同期比36.1%増）となりました。

## (景観資材事業)

駅前整備事業や公園・商業施設などの大型物件の受注に向けて、豊富な製品ラインナップと当社オリジナルの特注対応力を活かした提案営業を推進し受注獲得に努めた結果、透水タイプの舗装材やファニチュア製品などが順調に売上を伸ばしたことで、当セグメントの売上高は5億84百万円（前年同期比32.3%増）となりました。

## (エクステリア事業)

水まわり製品を中心に新製品の投入や品揃えの強化によるラインナップの拡充を図り、ハウスメーカーを中心に拡販を推進した結果、主力製品の立水栓は堅調に推移したものの、その他の製品が苦戦を強いられたことにより、当セグメントの売上高は2億29百万円（前年同期比21.8%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて4億11百万円減少し、147億95百万円となりました。これは主に、売上高に季節的変動があることで売上債権の受取手形及び売掛金が8億56百万円減少したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて3億98百万円減少し、73億24百万円となりました。これは主に、売上高の季節的変動に伴い仕入債務の支払手形及び買掛金が2億15百万円減少、ならびに電子記録債務が1億73百万円減少したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて13百万円減少し、74億71百万円となりました。これは主に、期末配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は49.2%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき予想しました結果、2023年4月28日に公表しました業績予想値を一部修正しております。詳細は、同日発表の「2024年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,442,570	1,627,068
受取手形、売掛金及び契約資産	3,350,259	2,494,171
電子記録債権	1,385,831	1,371,441
商品及び製品	1,240,728	1,509,565
仕掛品	80,610	105,394
未成工事支出金	244,643	194,915
原材料及び貯蔵品	343,803	358,256
その他	98,204	88,009
貸倒引当金	△3,090	△2,340
流動資産合計	8,183,562	7,746,482
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	992,935	986,496
土地	3,875,829	3,875,829
その他(純額)	986,502	1,058,448
有形固定資産合計	5,855,266	5,920,773
無形固定資産		
投資その他の資産	215,584	213,365
投資有価証券	552,737	598,695
退職給付に係る資産	197,764	200,529
繰延税金資産	47,429	25,431
その他	154,904	90,641
投資その他の資産合計	952,836	915,297
固定資産合計	7,023,687	7,049,436
資産合計	15,207,250	14,795,919
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,316,007	1,100,523
電子記録債務	1,368,800	1,195,498
短期借入金	2,540,208	2,420,208
未払法人税等	72,208	12,243
未払消費税等	84,748	33,829
未払費用	178,104	384,500
賞与引当金	184,590	88,444
役員賞与引当金	9,425	—
工事損失引当金	—	18,519
その他	535,764	712,302
流動負債合計	6,289,857	5,966,069
固定負債		
長期借入金	1,082,807	987,755
繰延税金負債	53,231	64,323
その他	296,967	306,664
固定負債合計	1,433,005	1,358,742
負債合計	7,722,862	7,324,811

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,019,800	2,019,800
資本剰余金	2,025,656	2,025,656
利益剰余金	3,093,898	3,035,843
自己株式	△91,220	△91,267
株主資本合計	7,048,134	6,990,032
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	237,495	271,475
退職給付に係る調整累計額	19,387	18,388
その他の包括利益累計額合計	256,882	289,863
非支配株主持分	179,370	191,211
純資産合計	7,484,387	7,471,107
負債純資産合計	15,207,250	14,795,919

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,243,598	2,867,374
売上原価	1,796,532	2,252,929
売上総利益	447,065	614,444
販売費及び一般管理費	471,896	576,535
営業利益又は営業損失(△)	△24,830	37,909
営業外収益		
受取配当金	9,264	9,056
受取賃貸料	3,469	3,056
工業所有権実施許諾料	2,089	1,558
雑収入	7,116	7,268
営業外収益合計	21,939	20,940
営業外費用		
支払利息	3,553	4,257
賃貸費用	1,332	1,310
雑損失	3	26
営業外費用合計	4,890	5,594
経常利益又は経常損失(△)	△7,781	53,254
特別利益		
固定資産売却益	80	229
特別利益合計	80	229
特別損失		
固定資産除却損	115	91
特別損失合計	115	91
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△7,816	53,392
法人税、住民税及び事業税	5,428	5,637
法人税等調整額	△4,481	21,709
法人税等合計	947	27,346
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,763	26,045
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	11,703
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,763	14,341



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,763	26,045
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,655	34,116
退職給付に係る調整額	△2,997	△998
その他の包括利益合計	△7,653	33,118
四半期包括利益	△16,417	59,163
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△16,417	47,322
非支配株主に係る四半期包括利益	—	11,841

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。